

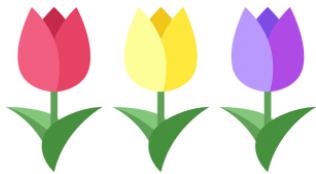
ひよこ相談だより

2020. 4

No. 1

ひよこのみなさん、いかがお過ごしですか。本校幼稚部の前庭の桜が美しく咲き誇る4月、令和二年度がスタートしました。

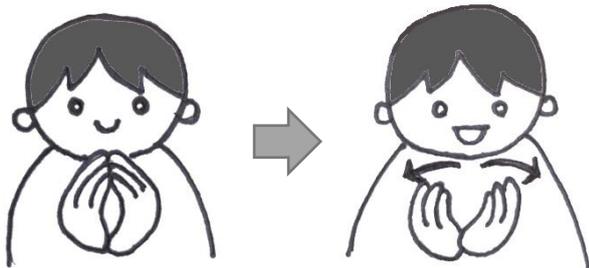
残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により、本校は臨時休校が続いています。それに伴い、ひよこも現在は相談業務を休止せざるを得ない状況となっています。ひよこのお子さん達もお家の皆さんも、大変な日々を過ごされていることでしょう。一日も早く普段の生活に戻り、ひよこ相談で皆さんにお会いしたいと思っています。皆さんも、もうしばらくの間お待ちいただき、一緒に活動できる日を楽しみにしましょう。



「チューリップ」

♪さいた　さいた
チューリップの　はなが・・・♪

- ◎歌を歌いながら、「花」の手話を表現して左右に揺らしてみましよう。
- ◎チューリップの絵や折り紙を割り箸の先に貼って(ペープサート),歌いながら揺らしてみましよう。
- ◎外でチューリップなどの花が咲いているのを見たら、「おはなだね。」と「花」の手話を見せながらお話しましよう。



「花」の手話表現



「ちょうちょ」

♪ちょうちょ　ちょうちょ
なのはに　とまれ・・・♪

- ◎歌を歌いながら、「ちょう」の手話を表現してゆらゆら揺らしてみましよう。
- ◎「ちょう」を表現した手を、お子さんの頭やおなかにとまらせてみましよう。
- ◎ハンカチやスカーフをちょうに見立てて、ひらひらと揺らしながら歌ってみましよう。



「ちょう」の手話表現

補聴器・人工内耳の 質問コーナー



寝かせたり、頭の向きを変えたりすると、補聴器からピーピー音がします。



補聴器の音もれによるハウリングという現象です。イヤモールドをギュッと押し込んであげて、耳とイヤモールドに隙間がないように装着させてあげましょう。もし何度押し込んでも音が止まらないときは、チューブやフックの破損や、成長に伴いイヤモールドが合わなくなっていることが考えられます。補聴器業者さんをお願いして、作り替えてもらいましょう。



補聴器・人工内耳をすぐに外してしまいます。

補聴器や人工内耳を装着し始めてまだ間もないお子さんは、音を聞いて周囲の様子を知ることの楽しさや面白さに気付いていません。さらに必要性も理解できません。すると違和感から自分で外してしまうことはよくあることです。そこで親御さんがあせって「付けなくちゃだめでしょう。」と叱ったり、無理に装着したりすると、お子さんは「補聴器・人工内耳は嫌なもの。これがあるとママが怒る。」と考えて、なおさら装着を嫌がるようになります。もしお子さんが外してしまったら「あらら、外しちゃったんだね。じゃあ、くださいね。」と親御さんが預かり「この箱に入れておくからね。」と決まった箱に入れるなど、外したことを責めないようにしましょう。その上で、食事や遊びなど何かに夢中になっている時に、そっと後ろから付けてあげましょう。装着している間は、たくさん話しかけたり、いろんな音を聞かせたりして、「補聴器（人工内耳）を付けてると、なんか楽しいぞ。」と思えるように働きかけてあげましょう。数ヶ月経つうちにいつの間にか装着を嫌がらなくなっていた、というお子さんがほとんどです。

相談の予約について

コロナウイルス感染症の流行に伴う休校により、相談予約開始の日程は未定です。本校ホームページでご連絡いたしますのでお待ちください。個別相談の時間枠は昨年同様以下のとおりです。

① 9:20～10:10 ② 10:30～11:20 ③ 14:00～14:50

お問い合わせは、宮城県立聴覚支援学校 022-248-0648 早期担当まで。

職員紹介

昨年度に引き続き、佐藤 玲子が早期教育相談を担当いたします。また、支援部長 奥田 真由美 も初回相談や集団活動でかわらせていただきます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

